

新しい医療のあり方を目指して 県立多治見病院、新病棟が完成

2月20日、岐阜県立多治見病院（Ⅱ県病院）新病棟の竣工式が行われました。

県病院は昭和14年の開設以来、東濃地方の基幹病院として、がん医療、周産期医療、救急医療、精神医療、結核、感染症医療など、さまざまな分野で高度な医療を提供してきました。

しかし、施設の中には築30年から40年を越える施設も存在するなど老朽化が著しく、現在の基準に適合した耐震性能を有していないことや、今の医療水準に適合した医療、療養環境の提供ができないといった状況もあり今回の改修に至りました。

地上8階、地下1階で、病床数460床を持つ新病棟は「安らぎとゆとりの療養環境」、「より良い患者サービス」、「労働環境の向上」を目指して建設され、質の高い「21世紀型の病棟」として整備されました。

新病院の特徴としては、岐阜県内の公立病院では初めて、悪性腫瘍などの末期医療に際し、患者の

人間的な尊厳を保ちつつ、心身の激しい苦痛を和らげるための緩和ケア病棟（Ⅱ20床・全室個室）が設置されたことです。

また患者中心の施設整備としては、ベットサイドに窓を備えたゆとりある病室とし、患者から要望の高い個室の割合を約50%と大幅に高めました。個室はもちろん、多床室にも部屋ごとにトイレを設置し、患者の早期離床を促進するとともに、高齢者等の利便性を高めました。さらに今年中には旧病棟は取り壊され、約340台停められる新駐車場となる予定です。

ところで「県立病院の使命・役

割を果たすためには、経営形態を見直し、非公務員型にすべきであるという考えから、今年の4月1日から県立3病院（岐阜・多治見・下呂）は地方独立行政法人に移行されます。

法人化の目的は、

●医療従事者の確保を容易にし、かつ、機動的・効率的な運営を確保することで、県民が必要とする医療をより良く、かつ、継続的に提供すること。

●医療従事者を必要な人数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。

の2つです。

これを実現するための経営形態として、自律性・機動性・柔軟性に優れ、また、県と一定の関係を保ち、公共性を確保することができることなどから、地方独立行政法人が選択されたわけです。

法人化のメリットとしては、地方自治法や地方公務員法の各種制約を排除し、医療従事者の確保が容易になること、多様な契約方法の導入や事務の集約化・簡素化を図り、経費を削減できることなど多岐にわたります。

法人化することにより、採算重視の経営形態になるのではないかなど、一部では不安のご意見もいただきますが、法人化後も今まで以上に県との関係を強化し、地域医療の発展に寄与していきます。

市民と共に
語り合おう

県政報告会を行っています

昨年、「地域と政治」、「行政と地域住民」がもっと身近なものになるよう、地元選出の市議会議員の方々と一しよに、市民の皆さまとの対話集会を開いています。これまで、市之倉と脇之島の2か所の公民館で行いましたが、お越しいただいた方々からは貴重なご意見をいただき、時には活発な議論もなされるなど、それ以降の政治活動に大きな参考になりました。

4月以降も、市議の皆さんと手を携えこういった集会をどんどん開いていく予定です。地区ごとにポストにご案内状を入れさせていただきますので、お届けの節はぜひご主席いただき、県政・市政へのご意見をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

何でも相談コーナー



みなさんのお声を頂戴し、これからの県政にいかしたいと考えています。どんなことでもご一報ください。また、政治に興味のある20代・30代の方々のご意見もお待ちしています。

暮らしやすく快適な未来のために精一杯努力していきますのでよろしくお願いいたします。不在の場合がありますので、できましたらメールかFAXでご連絡をいただけるようお願いいたします。

岐阜県議会議員 高木貴行事務所

多治見市滝呂町17丁目60-1 E-mail/gifu@t-takagi.jp
☎ 0572-45-0265 FAX 0572-45-0266

ホームページでも t-takagi.jp

たかぎたかゆき

検索



高木貴行おもしろブログ更新中!